

歌い、踊り、笑った！
～高齢者健康生きがいがづくり事業～

No.79
2026. 1. 1 発行

新年あけましておめでとうございます。

今年度も、高齢者健康生きがいがづくり事業（ふれあい・いきいきサロン）を9地区で開催いたしました。

午前中は体操を交えながらの講話で頭と体を動かし、楽しく昼食をとった後、参加された皆さんは出演者と一緒に歌い、踊り、アトラクションを満喫しました。



五里合地区



若美地区



北浦地区

主な内容

- ・ 新年のご挨拶 2
- ・ 社協事業等紹介他 3
- ・ 男鹿市社会福祉大会他 4
- ・ 特別・賛助会員紹介 5
- ・ 善意紹介、各種お知らせ等 6

編集発行

社会福祉
法人

男鹿市社会福祉協議会

〒010-0511 秋田県男鹿市船川港船川字片田74番地
電話 (0185) 23-2772 FAX (0185) 24-3301
ホームページ URL <http://www.ogashakyo.com>

若美福祉拠点センター

〒010-0422 秋田県男鹿市払戸字渡部30番地17
電話 (0185) 46-3939 FAX (0185) 46-3795

新年のご挨拶



社会福祉法人
男鹿市社会福祉協議会
会長 杉本 正広

新年明けましておめでとうございます。
皆さまにおかれましては、お健やか
に新年をお迎えのこととお慶び申し上
げます。

日頃より、本会の活動に対し、ご理
解とご支援を賜り、心より感謝申し上
げます。

さて、依然として台風や大雨をはじ
めとする自然災害が各地で発生してお
ります。

また山火事や住宅地の大規模火災な
どの他、住宅地周辺での熊による被害
が相次ぎ、不安な思いをされた方も多
くいらっしゃるものと存じます。被害
に遭われた方々の復興と、安心した日
常生活が一日でも早く戻ることを願っ
ているところであります。

介護や障がい、子育て、生活困窮な

ど地域が抱える福祉課題は複雑化・多
様化し続けております。地域全体が助
け合い、支え合う仕組みづくりと、あ
らゆる地域資源の開拓・連携に向けた
地域ネットワークづくりが必要とされ
ております。これらは、災害時におい
ても地域の福祉の力となり、大きな活
躍が期待されるところでございます。

このような現状を踏まえ男鹿市では、
介護予防や健康寿命アップ、また災害
が発生した時を想定した平時の防災活
動に積極的に取り組んでおり、本会と
しても「高齢者健康生きがいづくり事
業」、「生活支援体制整備事業」、「生活
困窮者自立支援事業」、「日常生活自立
支援事業」、「個別避難計画の作成」、
「ひなんさんぽの会」などさまざまな
事業を展開しながら、市民の健康づく
りやフレイル予防、防災活動に努めて
いるところでございます。

これらさまざまな地域福祉活動を推
進するためには、関係機関との連携は
元より、地区社協、民生児童委員、町
内会及びボランティアの方々等をはじ
め市民の皆さまのご理解とご協力が不
可欠です。

「誰もが安心して暮らせる地域づく

り」を目指し、役職員一丸となって取
り組んでまいりますので、改めてご理
解とご支援、ご協力を賜りますようお願い
申し上げます。

新しい年が、皆さまにとって幸多き
年となりますようご祈念申し上げ、新
年のご挨拶いたします。

受賞おめでとうございます

社会福祉協議会の理事としての永年にわた
る功績をたたえられ、令和7年度全国社会福
祉協議会会長賞を授賞されました。

全国社会福祉協議会会長表彰

【社会福祉協議会・民間社会福祉団体功労】
・佐藤 カツ子

秋田県社会福祉大会（10月29日開催）にお
いて、次の方々が多年の功績をたたえられ、
表彰されました。

秋田県社会福祉協議会会長表彰

【社会福祉功労】

◆法人役員

・加藤 立夫 ・鈴木 明

（順不同、敬称略）

子ども手話教室

船川第一小学校5年生を対象とした子ども手話教室が、男鹿手話サークルぶりっこ主催で行われました。

参加した児童たちは耳が聞こえない方の生活や手話と手話以外のコミュニケーションの取り方について理解を深めました。手話を題材にしたクイズでは、積極的に手話に触れようとする姿勢が見られ、皆で楽しみながら学ぶ授業となりました。



ひなんさんぽの会

10月17日脇本本村地区を対象に、地域住民や脇本地区民生児童委員など32名が参加し、ひなんさんぽの会を開催しました。

当日は天候にも恵まれ、地域内を散歩をしながら危険箇所を確認し、善法寺にて講師の鍵屋一先生から防災についての講話を聞くなど、普段の生活からできる防災について考えるきっかけとなりました。



防災教室 ～備える力を身につけよう～

10月2日に脇本コミュニティセンター主催による防災教室～備える力を身につけよう～を開催しました。防災教室では、大釜による炊き出し訓練と防災士の斉藤亜希氏をお招きし、防災と過去の災害について講話を行いました。また防災リュックについてカードを使用し「家にあるもの」「購入しなければならないもの」に分け自分だけの防災リュックを作成しました。

参加者の皆さんからは「参考になった。また来年も開催して欲しい」「防災リュックは持っているけど、改めて、中に入れる物を考える良い機会となった」との声があり、講師の斉藤亜希氏からは「防災リュックを準備されている方が多く驚いた。防災意識の高い地域だと嬉しくなりました。引き続き防災に触れて欲しい」とお話をいただいております。



除雪ボランティアを募集しています

高齢者や障がい者世帯の方で自力での除雪が困難な方のお手伝いをします。ご協力いただける方は、ぜひご登録をお願いいたします。

【実施基準】

12時間で35cm以上の雪が降る状態が2日以上続き、かつ本会会長が必要と認めた時

※ 実施する際には、お知らせいたします。

【活動内容】

出入口（玄関）、窓周辺、ストーブの排気口、ガスボンベ付近の除雪

※ 屋根等の危険箇所の除雪は行いません。

【持ち物】

防寒具・手袋・長靴・飲み物・除雪道具（スコップ等）

※ 除雪道具は社協でも準備をしますが、数に限りがありますので、ご持参のご協力をお願いいたします。

【その他】

社会福祉協議会で社協の保険に加入し活動を行います。自己負担はありません。

登録方法等、詳しくは男鹿市社会福祉協議会ホームページまたは事務局までお問い合わせください。☎23-2772



令和7年度 男鹿市社会福祉大会を開催します

地域を取り巻く環境の変化とともに、市民の価値観も変化し、福祉に対するニーズはますます複雑になっていくと考えられます。男鹿市社会福祉協議会の基本目標である「いのち輝く、いきいき福祉のまちづくり」の実現の為にトータルケアで進めてきた相談支援を重点的に推進するとともに、地域福祉力の向上を目指し、本大会を開催いたします。

1. 日 時 令和8年2月28日(土) 12:30 受付
2. 会 場 男鹿市民文化会館（大ホール）
入場無料
3. 日 程



12:30 13:00 14:00 15:00 15:50 16:00

受付	開会	大会式典	講 演	アトラクション	閉会
----	----	------	-----	---------	----

4. 講 演 演題「平時も災害時も安全な地域を目指して～近年の大災害に学ぶ～」
講師 跡見学園女子大学 教授 鍵屋 一 氏
5. アトラクション きり亭たん方(落語)、三浦 博美(歌謡)
6. 問い合わせ 社会福祉法人 男鹿市社会福祉協議会 ☎23-2772
詳しくは、広報おが（2月1日号）折込チラシをご覧ください。

皆さまの善意ありがとうございました



11月3日(月)手話サークルぶりっこの皆さまが、赤い羽根共同募金の呼びかけを道の駅おがなまはげの里オガーレで行い、11,602円が集まりました。

12月6日(土)赤十字奉仕団の皆さまが、NHK海外たすけあい募金の呼びかけをスーパーセンターアマノ男鹿店で行い、12,287円が集まりました。

集まった募金は、地域福祉活動や紛争、自然災害等で苦しんでいる人たちの支援に活かされます。皆さまからのあたたかいご支援ありがとうございました。

お気持ちありがとうございます

㈱ダイナム男鹿店様より、インスタントラーメンやアルミホイル、ティッシュペーパー等の食料及び日用品をご寄附いただきました。

いただきました物品は、本会のフードバンク事業を通じて、生活にお困りの世帯へお渡しいたします。あたたかいご支援に心より感謝申し上げます。



特別会員

令和7年度の特別会員として
ご協力くださった方々のお名前
です。

(令和7年12月5日までの受付分)

北浦地区

一万円
・(株)SKO
・浮田 忠勝
・大淵 英悦
・雄山閣
・今山 文憲
・古谷 茂男
・三千円
・亀寿司食堂
・加賀谷博雄
・渡邊ヨシエ
・近藤 繁勝
・古仲 良平
・濱野 勇幸
・松嶋 謙一
・藤原 春美
・今山 弘子
・清水都美子
・武内チヤ子
・古仲 啓子
・齊藤 英一
・高野 進
・古仲 宗賢
・古仲 宗雲
・古仲 光輝
・浅井富士雄

・浮田 秀美
・伊藤 順子
・齊藤 憲雄

・山本 英樹
・柴田 忠雄
・外山 弘一
・山本 晃嗣
・富田 孝憲
・仙北屋淳子
・福嶋 昭夫
・本川 秀雄
・齊藤 清彦
・谷口 義男
・鈴木 金秋
・鎌田 虎男
・柴山 保夫
・安田 一彦
・谷口 鉄美
・武内 信彦
・畠山 富勝
・関 金哉
・関向 秀子
・小林 清
・細井ケエ子
・浅野 浩子
・細井 清
・飯澤 吉三
・金田 一孝
・三浦由美子
・加藤 勝
・武田 勝
・畠山 光義
・大森 節子
・加藤 秋男
・石川紀美子
・古仲 弘子
・小林 一
・本川 辰美
・相場 紘士
・仙北屋昭弘
・浮田 勝男
・鈴木 久
・石垣 儀二
・高野 純子
・外山 弘三
・本川 和彦
・安田 孝彦
・安田 一生
・安田美智子
・安田 豊勝
・山本 春司
・鈴木 博夫
・太田 忠
・岩谷 春美
・戸嶋 幸三
・浅野 光男
・嶋宮 薫
・大坂谷良誠
・湊 輝雄
・大山 節子
・檜山 廣
・加藤 茂子
・鎌田 幸男
・佐々木喜一郎
・原田 良作
・鎌田 鉄男
・石川 城一

男鹿中地区

一万円
・福山 活龍
・玉の池荘
・三浦 正勝
・玉の池ワークハウス
・大高 廣昭
・宮崎 秀夫
・大野 久
・高桑 和雄
・目黒 清一
・笹川 好子
・大山 誠
・武田 邦重
・三浦 源蔵
・三浦 猛
・武田 鉄平

五里合地区

六千円
・(株)杉石石材
・(株)杉本組
・鈴木 信厚
・鈴木 順子
・伊藤 寿
・杉本キヨ子
・真壁 雅彦
・杉本 一敏
・佐々木美紀江
・佐藤 悦子
・薄田 正悦
・山口 静子
・加藤 立夫
・杉本 森男
・村井 一仁
・石郷岡 健
・菅原 悟
・武田 博
・薄田 朋利

(順不同、敬称略)

賛助会員

令和7年度の賛助としてご協
力くださった方々のお名前です。
(令和7年12月5日までの受付分)

男鹿中地区

二千元
・目黒 政彦
・沢木 孝明
・加賀 誠一
・湊 博光
・目黒 隆悦
・高桑 春美
・高桑 正一
・大森 悦夫
・山下 清賢
・三浦 孝子
・武田ルミ子
・武田 英昭
・江島 昭光
・大高 務
・佐沢 忠光
・大高 律子
・山下 芳勝
・安田 春雄
・目黒 光博
・橋本祐美子
・湊 正人
・目黒勝太郎
・目黒 雪子
・目黒 秀春
・江畑 諒公
・山下 龍子
・三浦 敬弘
・笹川 豊
・武田 弓子
・武田 萬蔵
・三浦 則孝
・大高 兼美
・畠山 一彦

(順不同、敬称略)



社会福祉協議会会費納入にご理解とご協力をお願いします

社会福祉・地域福祉は特別な人びとのためのものではなく、すべての住民一人ひとりにかかわるテーマです。皆
さまからお寄せいただいた会費は、さまざまな地域福祉活動に活かされています。社協会費は「住民参加」という
意味を持つ大切な自主財源であり、社協が進める地域福祉活動の財源となります。各地区において役員をはじめ関
係者が会費納入のお願いに伺った際には、ご理解とご協力をお願いいたします。

一般会費 300円 (一世帯あたり)
賛助会費 300円を超え、3,000円未満 (個人・一事業所あたり)
特別会費 一口 3,000円以上 (個人・一事業所あたり)

【寄附金等】

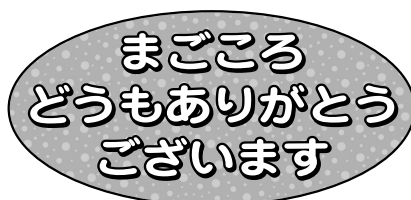
田沼 求 10万円 北 浦
匿名 5,820円
三浦久美子 1万円 脇 本

・船川地区社協へ

近藤 信彦 5万円 船 川

・戸賀地区社協へ

石川 春仁 2万円 加茂青砂



受付順、敬称略
(令和7年9月1日から令和7年11月30日受付分)

・脇本地区社協へ

善法寺 5万円 荒 町
山田 政則 5万円 浦 田
畠山美喜子 5千円 新 町
いちご工房支援者一同
6,380円



指定相談支援事業所として相談受付をします

障害者総合支援法に基づき、身体障害者、知的障害者、精神障害者の方の日常生活全般に関する相談等に対応する窓口を開設しております。連絡・相談については原則として、月曜～金曜日、祝日を除く午前8時30分から午後5時15分までとなっております。 ※ 詳しくは社会福祉協議会まで ☎23-2772

男鹿調停協会との合同心配ごと相談所開設は2月の予定です

開催日が決まり次第、折り込みチラシ等にてお知らせし、予約を受付します。会場は保健福祉センターで、開設時間は午前10時～午後3時までの予定です。

困りごと・心配ごととの相談は随時受付しております

ひとりで悩むよりは相談しましょう。解決に向けて、専門の相談機関等の紹介も行います。秘密は堅く守り、相談は無料です。お気軽にご活用ください。 ※ 詳しくは社会福祉協議会まで ☎23-2772

生活福祉資金貸付のお知らせ

※ 負債による生計維持困難者は不可

－ 社会福祉協議会では、所得の少ない世帯や障害者、療養や介護を必要とする高齢者のいる世帯に対し、資金の貸付と必要な相談支援を行うことにより、経済的自立と生活の安定を図ることを目的とする生活福祉資金の貸付を行っております －

1. 総合支援資金 失業等、日常生活全般に困難を抱えており生活の立て直しのために必要な生活費及び一時的な資金
＜原則として生活困窮者自立支援法に基づく自立相談支援事業等による支援を受けることに同意していること＞
○生活支援費 ○住宅入居費 ○一時生活再建費
2. 福祉資金 日常生活、自立生活する上で一時的に必要な費用 ○福祉費 ○緊急小口資金
3. 教育支援資金 学校教育法に定める学校に入学する、または在学している場合の必要経費
○教育支援費 ○就学支度費
4. 不動産担保型生活資金
将来にわたり住居に住み続けることを希望する高齢者世帯に対し、不動産等を担保として、生活費を貸付
○不動産担保型生活資金 ○要保護世帯向け不動産担保型生活資金

※ 資金別に貸付要件がありますので、詳しくは下記までお問い合わせください。

男鹿市社会福祉協議会 ☎23-2772